

市民説明会の開催結果について

1 開催日時・参加者数

開催日	時間	会場	参加者数
8月5日(水)	18:30~20:00	市川教育会館	19人
8月8日(土)	10:00~11:30	大野公民館	24人
8月8日(土)	15:00~16:30	行徳公民館	27人
8月9日(日)	13:00~14:30	男女共同参画センター	28人
8月11日(火)	19:00~20:30	南行徳市民談話室	24人
合計			122人

2 説明会の内容

- (1) あいさつ
- (2) 動画上映(さらなるごみの減量・資源化に向けて)
- (3) 口頭説明(パワーポイント)
- (4) 質疑応答

<配付資料>

- ・次第
- ・広報いちかわ7月4日号
- ・説明用資料(パワーポイント資料)
- ・アンケート用紙

※市側出席者

清掃部長、清掃部次長、清掃部各課長(または副参事)、その他従事職員

3 主な意見・質問

(1) 家庭ごみ有料化制度について

①家庭ごみ有料化 賛成・反対

- 有料化で受益者負担になることに賛成。
- 有料化によってごみに対する意識が高まる。
- 有料化をする前に、ごみ減量の周知を徹底するのが先ではないか。
- 何でも値上げしている気がする。最初に有料化ありきでは困る。市民の意見を聞くなら、時間をかけて欲しい。

②手数料

- 処理手数料の支払方法は。
- どのように市にお金が入るのか。
- 料金はいくらになるのか。

③支援策・減免対象

- 生ごみ減量の補助を増やすべきではないか。
- 生活弱者・生活困窮者への配慮があってもいいのではないか。
- 地域清掃（神社の落ち葉等）への補助はあるのか。

④手数料の使途

- 手数料はクリーンセンターの建て替え費用にしてはどうか。

⑤その他

- 有料化をすると、野焼きや不適正排出が増えるのではないか。
- 有料化に伴い、公園のごみ箱に持ち込む人ができるので、公園のごみ箱は撤去したほうが良い。

(2) 戸別収集について

- 集積所の土地は利用者の共有名義だが、使用しなくなった後どのように取り扱えばいいのか。
- カラスやネコの対策は、どうすればいいのか。
- 近所の目が気になり、出しにくくなる。
- 収集コストはどれくらい増加するのか。
- 戸別収集に賛成。袋小路等の道もあるので、実施のときに各自治体の地域調査をして欲しい。
- アパートの人は分別ができていないため、ごみを置いていかれてしまい、集積所の管理が負担である。戸別収集は賛成。

- 戸別収集には賛成。カラス対策等を自分で考えるようになり、排出者のごみに対する意識が高まる。是非進めて欲しい。
- 戸別収集だけでも先に始めて欲しい。分別せずに出す人が多く、収集されないごみ残り、通行人がポイ捨てをする。集積所の管理、掃除が非常に大変。

(3) ごみ収集回数の削減について

- 高齢者等のオムツは、容量や臭気の問題で、週3回の収集でも保管が難しい。これを週2回にするのであれば、市から保管の対応策を出して欲しい。
- 祝日も収集するのか。
- コストはどれくらい減少するのか。

(4) 3つのプラン全般

- 3つのプランは、今後どのようなスケジュールで進めていくのか。いつから開始になるのか。
- 全体としてのコストの増減を教えて欲しい。
- 有料化、戸別収集はベターな施策であり、賛成。集積所管理の負担が少なくなり、無責任な人が少なくなる。
- 今回の3つのプランについては、メリットばかり強調されており、生活者の視点に沿った案なのか疑問を感じる。今後の調査・検討に期待している。

(5) 市民説明・広報周知

- 単身者に対するPR・啓発はどうなっているのか。
- 自治会等に参加していないアパート居住者、外国人、認知症の単身者等への周知はどうするのか。(情報が伝わりにくい人への周知)
- 集積所に外国語の掲示を出して欲しい。

(6) クリーンセンターの建て替え・最終処分場

- クリーンセンター建て替えの用地確保や資金調達はどうなっているのか。
- クリーンセンターで発電した電気はどのように活用しているのか。
- 市内に最終処分場を作りにくいのはなぜか。作る議論をしたことはあるのか。
- 焼却灰を資源活用できないのか。
- クリーンセンターは、9年先でなくもっと早く建て替えるべきではないか。

(7) 不適正排出等（現在のごみ出し等の問題点）

- 自治会に加入していないアパートのごみ出しが酷い。
- 集合住宅の管理者（不動産業者等）と話し合いは行われているのか。
- ごみ袋に記名することを義務化できないか。
- 集積所（かご）の利用者を登録制にできないか（氏名を記載）。
- 不法排出（不法投棄）に罰則があるが、市としてお金（罰金）を取った事例はあるのか。

(8) その他

- 近隣市との情報共有はあるのか。共同でやれば効率的に収集できるのではないか。
- 複合素材は分別が難しい。製造に関して国の規制等が必要ではないか。
- 剪定枝の資源化を検討してみてはどうか。
- 説明の映像がよかった。この映像資料等はホームページに掲載するのか。また、Facebook やツイッターで紹介していいか。

市民説明会におけるアンケート結果(速報版)

【ご回答者について】

問1. あなたご自身とご家庭について、お答えください。

ア) 性別

	回答数	回答比率
1. 男性	63	52.5%
2. 女性	56	46.7%
3. 無回答	1	0.8%
計	120	100%

開催回数	5 回
出席者数	122 名
アンケート回答者数	120 名
アンケート回答率	98.4%

イ) 年齢

	回答数	回答比率
1. 20歳未満	1	0.8%
2. 20～29歳	2	1.7%
3. 30～39歳	2	1.7%
4. 40～49歳	4	3.3%
5. 50～59歳	11	9.2%
6. 60～69歳	39	32.5%
7. 70歳以上	60	50.0%
8. 無回答	1	0.8%
計	120	100.0%

ウ) ご家族の人数(ご自身を含めて)

	回答数	回答比率
1. 1人	5	4.2%
2. 2人	48	40.0%
3. 3人	28	23.3%
4. 4人	23	19.2%
5. 5人	10	8.3%
6. 6人以上	6	5.0%
7. 無回答	0	0.0%
計	120	100.0%

エ) お住まいの形態

	回答数	回答比率
1. 戸建住宅	91	76%
2. 集合住宅(アパート・マンション・寮)	24	20%
3. 店舗・事務所との併用住宅	4	3%
4. その他	0	0%
5. 無回答	1	1%
計	120	100%

【市川市のごみ処理の問題について】

問2. 市川市のごみ処理の問題について、あなたが説明会に参加される前から知っていたことをお答えください。(複数回答)

- 1 市内にはごみの最終処分場がなく、市川市クリーンセンターでごみを焼却した後に残った焼却灰は市外へ運ばれて埋め立て処分されていること
- 2 市内で唯一のごみの焼却・破碎処理施設である市川市クリーンセンターは、老朽化が進んでおり、建て替え時期が迫っていること
- 3 燃やすごみとして排出されたものの中に、分別すれば資源化できる可能性があるものが約3割も混入していること

	回答数	回答比率
1	93	77.5%
2	75	62.5%
3	61	50.8%
計	229	

問3. 市川市のごみ処理問題にどの程度関心がありますか。

	回答数	回答比率
1. 大いに関心がある	93	77.5%
2. 少し関心がある	23	19.2%
3. あまり関心がない	1	0.8%
4. まったく関心がない	0	0.0%
5. 無回答	3	2.5%
計	120	100.0%

【ごみの減量・資源化の取り組みについて】

問4. ごみの減量や資源化のために、あなたが実践していることをお答えください。(複数回答)

	回答数	回答比率
1. マイバッグの利用	97	80.8%
2. 過剰な包装を断る	70	58.3%
3. 使い捨て商品は買わない	21	17.5%
4. 食べ残しを減らす	84	70.0%
5. 生ごみの水切り	77	64.2%
6. コンポスト容器の利用	18	15.0%
7. プラスチック製容器包装類の分別	98	81.7%
8. 雑がみの分別	72	60.0%
9. リユースショップ・リサイクルショップの活用	27	22.5%
10. その他	14	11.7%
計	578	

【ごみの排出頻度について】

問5. あなたのご家庭がごみを出す回数(頻度)についてお答えください。

ア) 燃やすごみ

	回答数	回答比率
1. 週3回	54	45.0%
2. 週2回	42	35.0%
3. 週1回	17	14.2%
4. 週1回未満	5	4.2%
5. 無回答	2	1.7%
計	120	100.0%

イ) 燃やさないごみ

	回答数	回答比率
1. 週1回	57	47.5%
2. 2週に1回	15	12.5%
3. 月1回	17	14.2%
4. 月1回未満	29	24.2%
5. 無回答	2	1.7%
計	120	100.0%

ウ) ビン・カン

	回答数	回答比率
1. 週1回	56	46.7%
2. 2週に1回	25	20.8%
3. 月1回	15	12.5%
4. 月1回未満	21	17.5%
5. 無回答	3	2.5%
計	120	100.0%

エ) 紙類・布類

	回答数	回答比率
1. 週1回	41	34.2%
2. 2週に1回	19	15.8%
3. 月1回	23	19.2%
4. 月1回未満	29	24.2%
5. 無回答	8	6.7%
計	120	100.0%

【戸別収集方式について】

問6. 建物ごとにごみを収集する戸別収集方式について、どう思いますか。(複数回答)

	回答数	回答比率
1. ごみを出す場所が近くなるので、ごみ出しが楽になる	41	34.2%
2. ごみの排出ルールが守られるようになる	61	50.8%
3. ごみの減量や分別を心がけるようになる	55	45.8%
4. ごみ集積場所に関する苦情やトラブルが減少する	55	45.8%
5. 自宅の前にごみを置くことが気になる	21	17.5%
6. 自分の出したごみが特定されやすいのでプライバシーが心配である	19	15.8%
7. 今の収集方式のままでも特に問題はない	43	35.8%
8. その他	13	10.8%
計	308	

【ごみ処理手数料の負担について】

問7. ごみを出す量に応じて手数料を負担することになった場合、あなたのご家庭では、ごみの減量についてどのように取り組みますか。

	回答数	回答比率
1. より一層積極的に取り組む	67	55.8%
2. 少しは前向きに取り組む	24	20.0%
3. 取り組みは変わらない	20	16.7%
4. わからない	3	2.5%
5. 無回答	6	5.0%
計	120	100.0%

【3つのプランについて】※自由記載

問8. 市が検討を始めた3つのプラン（家庭ごみの有料化、戸別収集の導入、ごみ収集回数の削減）について、ご意見がございましたら、ご自由にお聞きください。

（1）家庭ごみの有料化制度について

①手数料

- ごみの手数料についてはなるべく低く設定してください。

②支援策・減免対象

- 生活保護受給者や生活弱者に対しては、ごみ袋を格安で提供又は無料配布にはできないか。

③手数料の用途

- 手数料はクリーンセンターの建て替え費用にしてはどうか。

④家庭ごみ有料化 賛成・反対

- 家庭ごみの有料化は賛成です。分別・受益者負担の意識が高まると思います。(他5件)
- ごみを出す量が多い人がその量によって金額が増えるのはいいと思います。
- 有料化について賛成ですが、環境に負荷をかけない世帯には報いるような方法を考えてほしい。
- 家庭ごみの有料化は負担が大きくなるので反対です。
- 家庭ごみの有料化をする前にもっと研究することがあるのではないか。
- 市民に負担をおしつける方法、有料化ありきの方法ではなく、全体がわかるようにしてほしい。
- 家庭ごみの有料化よりも収集回数を減らす。分別を撤廃すること。

⑤不法投棄等

- 不法投棄が増えるのではないか。(他2件)
- 有料化をすればレジ袋で出す人が増えるのではないか。
- 有料化により、個人で燃やすごみを燃やす人が増加するのでは？

⑥その他

- 手数料の方法は、ごみ袋にシールを張る方法もあります。
- 現在の袋を作成している業者から0.5%でも1%でも徴収したらどうか？
- 事業系ごみの処理料金の適正化も併せて実施してもらいたい。

（2）戸別収集について

①戸別収集 賛成・反対

- 収集日に所定のものとは違うごみを出したり、時間外に出す方がいるので、戸別収集に賛成です。
- 新築住宅は集積所を設置せず・集積所の近くの人しか掃除をしないので戸別収集に賛成です。
- 自分の家に集積所があるとトラブルが多いので、戸別収集に賛成です。

②戸別収集 問題点

- 戸別収集を導入した場合、人件費等のコストが増加するのでは。(他3件)
- 収集時間が遅くなるのではないか。
- 収集の漏れがでるのではないか。
- 道路幅が狭い家では戸別収集ができない。(他2件)
- レジ袋でゴミを出す人が多くなるのではないか。
- 市内は道路が狭いので戸別収集をする前に道路整備が先ではないか。
- カラスや猫の対策はどうすればいいか。
- 衣類の排出に際し、持ち去りが心配である。

③戸別収集 その他

- 戸別収集と現状のままの収集方法を併用するなど柔軟に対応しても良いのではないか。
(他2件)
- 収集は、わたくしの住んでいる地区に共有の集積所があるので導入の必要はありません。

(3) ゴミ収集回数の削減について

- 収集が遅くなるのではないか。
- 収集回数は2回で良いと思います。(他2件)
- 収集回数は今でも少ない。
- 収集回数を削減することで、不法投棄が増えるのではないか。

(4) 3つのプラン全般

- 3つのプランに賛成です。(他4件)
- ごみの削減が市民運動となるように意識を高める方向でお願いします。
- できれば現状が良いが、マナーが悪ければ有料化・戸別収集等の導入も仕方ない。
- 家庭ごみの有料化と戸別収集は賛成。回数削減には反対。
- 3つのプランを立てる前に問題点への解決案があった上でプランを立てるべきではないか。
痛みを伴うプランを立てるのであれば先ずは他に取り組む課題はないのか考えてほしい。
- ごみ有料化は反対。戸別収集はコストがかかりすぎ。収集回数削減になれば家にストックすることになる。3つのプランは市民のためにならず正反対の考えをもっている。
- プランの実施は、先ず収集回数の削減から始めてほしい。
- 3つのプランを導入することで不法投棄が増えるのではないか。
- 3つのプランの収支について、市民に分かりやすいようにしてほしい。

(5) 市民説明・広報周知

- 有料化や収集回数を減らすことをする前に、ごみをどうしたら減量できるか取り組みを市民に周知すべきではないか。200以上ある自治会に短時間で説明会は難しいのではないか。
- 説明会の参加人数が少ない。あまり関心がないように見受けられます。
- 市民全体に周知されるかが疑問です。

(6) 不適正排出等（ごみ出し等の問題点）

- 外国人が多数居住しているため、ごみ出しルールの徹底が難しいのでは。(他2件)
- ごみの出し方のルールを知らない人が多い。(他2件)
- ごみ袋に名前を書いて出している地域があり良いことでは？(他2件)
- 燃やすごみのごみ袋は小さいサイズ作ってほしい。

(7) その他

- なぜ、市川市は最終処分場がないのか？検討はしないのか。
- 近隣市との情報共有はあるのか。
- 冬は畑の堆肥として利用しています。
- 市はもっとエコについて考えてください。
- シュレッダーをした紙を1か所にまとめ資源化できないか。
- ごみの分別には、教育機関等に積極的に協力依頼をしたらどうか。PTAなどを特に利用してください。
- ごみ袋を購入するようになった時の説明と、今日の説明は違っていると思う。
- 雑がみを減らすことより生ごみのたい肥化を推進すべきだ。

【ごみの排出頻度について】

問5 あなたのご家庭がごみを出す回数（頻度）についてお答えください。

ア) 燃やすごみ

1. 週3回 2. 週2回 3. 週1回 4. 週1回未満

イ) 燃やさないごみ

1. 週1回 2. 2週に1回 3. 月1回 4. 月1回未満

ウ) ビン・カン

1. 週1回 2. 2週に1回 3. 月1回 4. 月1回未満

エ) 紙類・布類

1. 週1回 2. 2週に1回 3. 月1回 4. 月1回未満

【戸別収集方式について】

問6 建物ごとにごみを収集する戸別収集方式について、どう思いますか。（〇はいくつでも）

1. ごみを出す場所が近くなるので、ごみ出しが楽になる
2. ごみの排出ルールが守られるようになる
3. ごみの減量や分別を心がけるようになる
4. ごみ集積場所に関する苦情やトラブルが減少する
5. 自宅の前にごみを置くことが気になる
6. 自分の出したごみが特定されやすいのでプライバシーが心配である
7. 今の収集方式のままでも特に問題はない
8. その他（具体的に： _____)

【ごみ処理手数料の負担について】

問7 ごみを出す量に応じて手数料を負担することになった場合、あなたのご家庭では、ごみの減量についてどのように取り組みますか。

1. より一層積極的に取り組む 2. 少しは前向きに取り組む
3. 取り組みは変わらない 4. わからない

【3つのプランについて】

問8 市が検討をはじめた3つのプラン（家庭ごみの有料化、戸別収集の導入、ごみ収集回数の削減）について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

さらなるごみの減量・資源化に向けた 3つのプランに関する説明会

市川市 清掃部
平成27年8月

1

市川市のごみ処理の概要 (平成25年度実績)

総排出量は
1年間で、

145,022トン

(資源物の回収量を含む)

25mプールに入れたら、



約1,150杯分

処理にかかる費用は、



約58.4億円

市民1人あたり
約12,400円

燃やすごみの場合
1袋(45ℓ)あたり



約246円

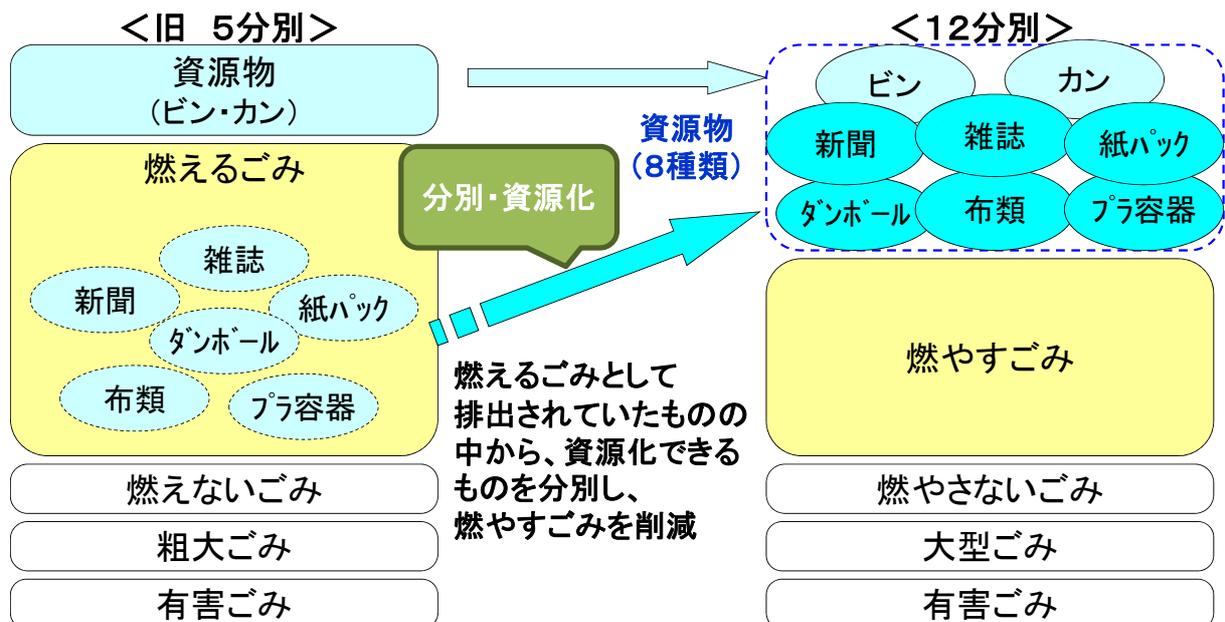
2

ごみの減量・資源化に向けた取り組み

- ◆ 平成14年10月 「家庭ごみの12分別収集」を開始
- ◆ 平成15年11月 「資源物とごみの分別ガイドブック」を作成
- ◆ 平成16年 7月 「マイバック運動」を開始
- ◆ 平成25年11月 「使用済小型家電の拠点回収」を開始
- ◆ 平成26年 4月 「雑がみ」の出し方を簡素化
「冬物衣類」の一部を布類として
資源物の対象に拡大

3

家庭ごみの12分別収集(平成14年10月～)



4

「雑がみ」の分別

紙箱、パンフレット、コピー用紙、包装紙、紙袋など、
製紙原料としてリサイクルできる紙
(新聞、雑誌、段ボール、紙パック以外のもの)

雑がみの例



出し方①
紙袋に入れて出す



出し方②
雑誌と一緒にひもで縛って出す

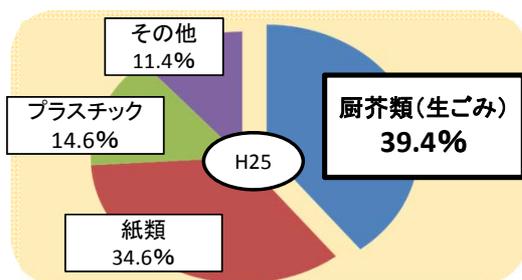


出し方③
雑がみだけ縛って出す



生ごみの減量・資源化について

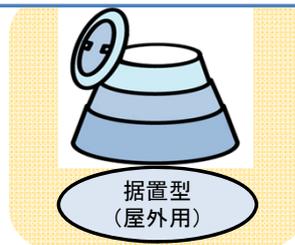
燃やすごみ全体の約4割を占める生ごみ



水切りによる生ごみの減量



コンポスト容器の購入費補助による生ごみ減量を推進



排出方法の周知、広報活動など

分別ガイドブック・チラシ



広報いちかわ・じゅんかんニュース



施設見学会



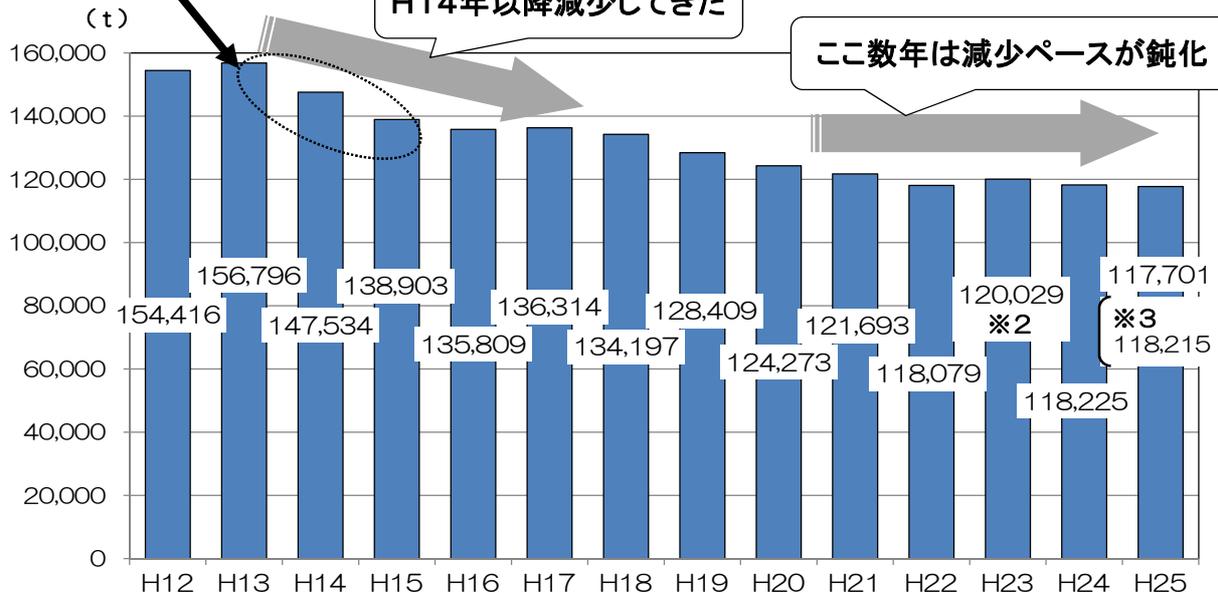
じゅんかん白書

焼却処理量の推移

12分別の導入で減少

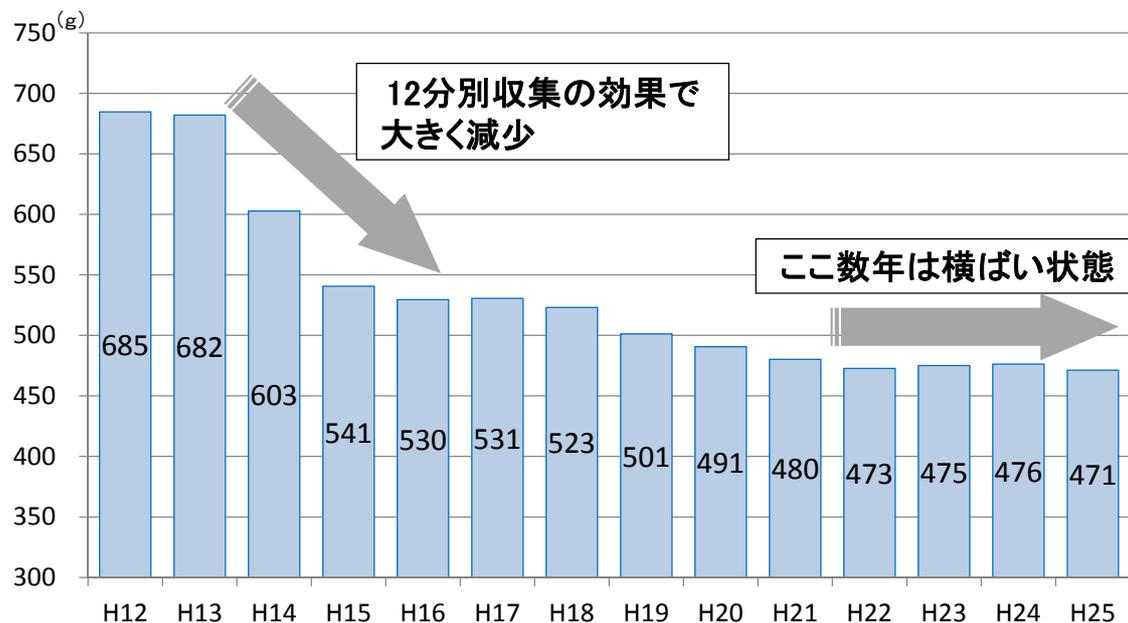
H14年以降減少してきた

ここ数年は減少ペースが鈍化



※1 搬入量ベースの値。 ※2 旭市からの災害廃棄物は除く。 ※3 し尿処理施設から搬入した脱水汚泥の焼却量を含んだ値。

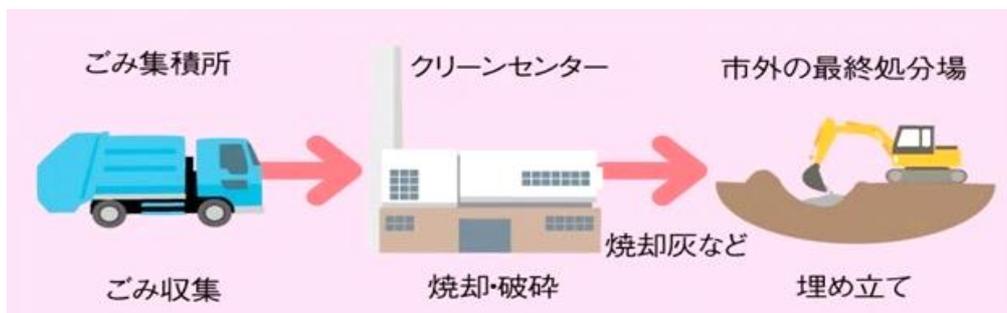
市民1人1日あたりの家庭ごみ(燃やすごみ)収集量の推移



9

問題①ごみの最終処分場がない

市川市には最終処分場がないため、ごみの焼却灰などを県内他市や秋田県、山形県など、市外の最終処分場で埋立てています。しかし、いつまでも処分先が確保できるとは限りません。



市外で処分する焼却灰などは、1年間で約1万6千トン、市民1人あたり約34kg、その処分には、約5億円がかかっています。

10

問題②クリーンセンターの建替えが迫っている

クリーンセンターは老朽化が進んでいるため、**あと9年(平成35年度末)**で稼働を終了する予定です。

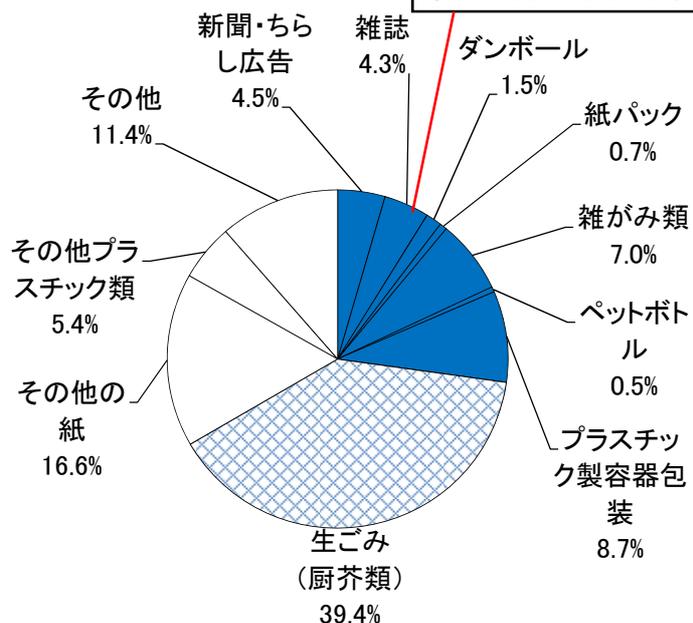
建替えを始める前に、ごみを減らすことができれば、
建替え費用や運営費を削減することができ、将来世代への負担も減少します。



11

問題③分別排出が不十分

約3割が資源物



燃やすごみの中には、紙類やプラスチック製容器包装類などの資源物が**約3割**も混入しています。

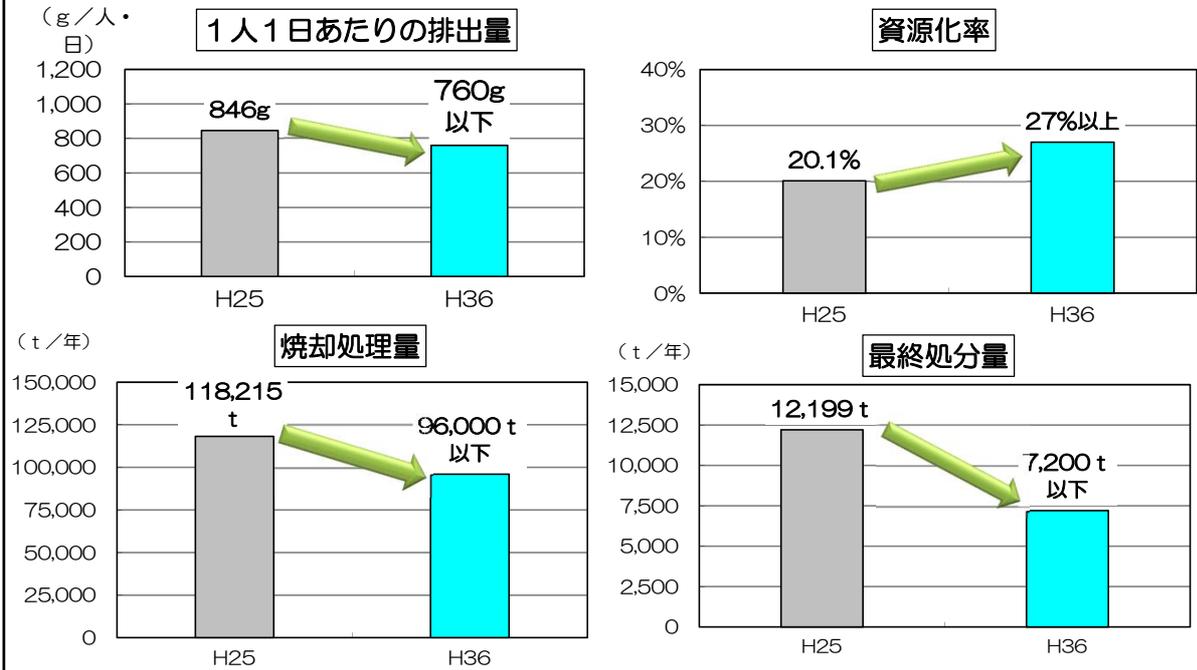
分別を徹底すれば、燃やすごみを減量することができます。

また、危険物の混入により、作業員のけがや爆発事故が起きたことがあります。

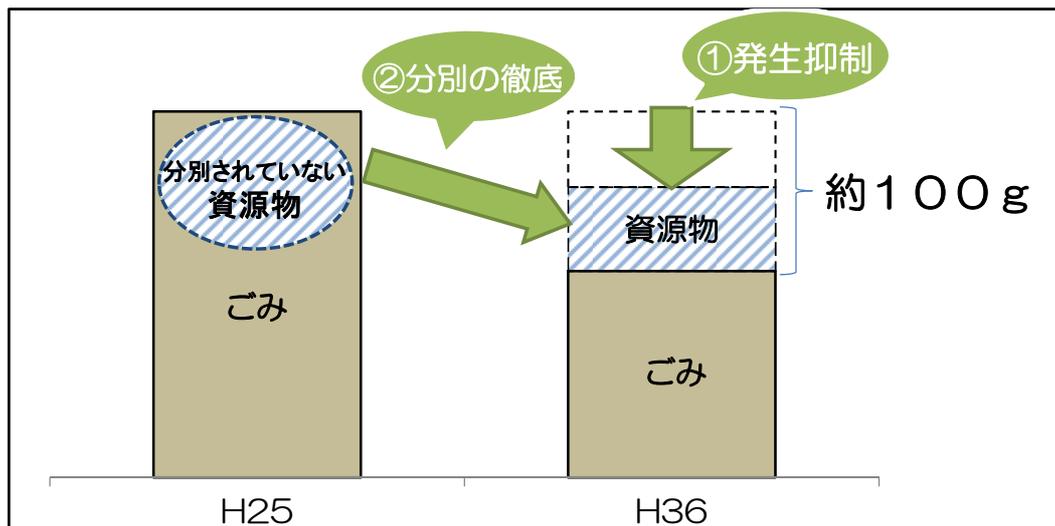
12

ごみ減量・資源化の数値目標(いちかわじゅんかんプラン21)

※市川市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(平成27年5月改定)



各家庭のごみ削減イメージ



各家庭では、ごみの発生抑制と分別の徹底を通じて、1人1日あたりのごみ排出量(資源物を除く) **約100g削減** が目標です。

さらなるごみの減量・資源化に向けた新たな施策の検討

1. 家庭ごみの有料化

ごみを出す量に応じてごみ処理費用の一部を本人が負担する制度です。ごみの減量、分別の意識の向上が期待でき、全国の約6割の市町村が実施しています。

2. 戸別収集の導入

建物ごとにごみを排出する戸別収集方式は、排出ルール違反の減少が期待できます。また、排出場所が近くなることで、高齢者のごみ排出の負担軽減にもなります。

3. ごみの収集回数の削減

ごみを排出できる機会が減ることで、ごみを減量しようという意識の向上が期待できます。

15

家庭ごみの有料化とは？ その1

Q 家庭ごみ有料化とは？

A ごみを出す量に応じてごみ処理費用の一部を負担していただくものです。指定ごみ袋を購入することで手数料を支払う方法が一般的です。

Q 今でも指定ごみ袋は有料だけ？

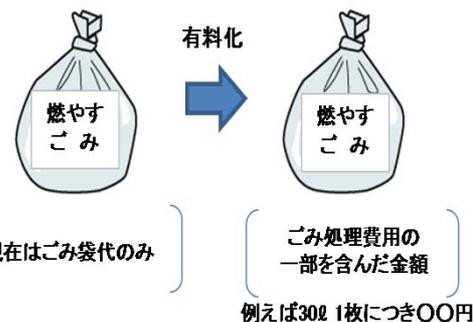
A 現在の指定ごみ袋は袋本体のみの値段で、ごみ処理費用は含まれていません。

Q どんな市町村で実施しているの？

A 全国の約6割の市町村が実施しており、県内でも千葉市、八千代市、野田市など約6割の市町村が実施しています。また、東京の多摩地区や神奈川県内でも導入が進んでいます。

Q すべてのごみが有料化となるの？

A 「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」は有料化の対象としていく考えです。なお、資源物については、分別促進のため、「ごみ」よりも低い料金又は無料とすることが考えられます。



16

家庭ごみの有料化とは？ その2

Q どんな効果がある？

A 以下の効果があります。

- 費用負担を減らそうとする動機づけが働くことで、ごみの減量が進みます。導入自治体の多くでは、可燃ごみが10%~20%程度減少しています。
- ごみの減量に努力する人と、そうでない人との公平性の確保につながります。

Q 料金はどれくらいになるの？

A 導入した自治体の多くでは、指定ごみ袋の容量1リットルあたり1円~2円前後の設定となっています。（30リットル袋1枚で30円~60円程度）

Q 減免措置はないの？

A 赤ちゃん・高齢者・障害者の紙おむつ、地域のボランティア活動で集めたごみなどを、無料としている市町村があります。

Q 手数料は何に使われるの？

A ごみ減量・資源化の推進に関する市民への支援策、制度運営費等に活用することが考えられます。

17

戸別収集の導入とは？

Q 戸別収集とは？

A 建物ごとに、道路に面した場所にごみを出していただき、これを収集する方式です。

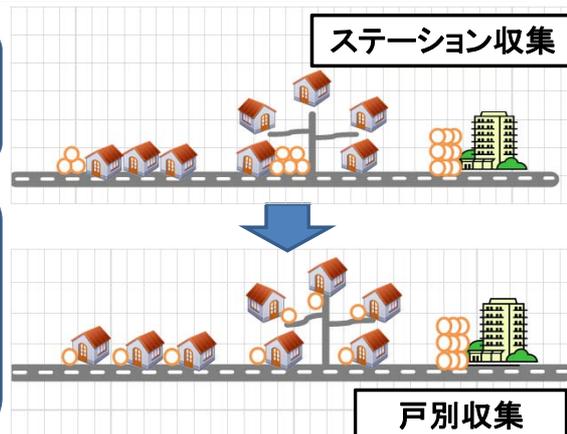
Q すべての世帯が対象となるの？

A 戸建て住宅が対象となります。ただし、地形や道路の状況などの条件により、対象とすることが困難な場所も予想されます。集合住宅は引き続き敷地内のごみ集積所に排出します。

Q どんな効果がある？

A 以下の効果が期待できます。

- 排出者のごみ減量・分別の意識が高まり、ルール違反の減少につながります。
- ルール違反があった場合、排出者に対する啓発や指導がしやすくなります。
- ごみを出す場所が近くなり、高齢者等のごみ出しの負担が軽減されます。
- ごみ集積所の維持管理の負担の軽減につながります。



18

ごみ収集回数の削減とは？

Q 対象となるごみの種類は？

A 「燃やすごみ」と「燃やさないごみ・有害ごみ」の収集回数を削減することが考えられます。

Q 他市の収集回数は？

A 「燃やすごみ」は週2回、「燃やさないごみ」は月2回で行う自治体も多くあります。東京都内の8割以上の自治体で「燃やすごみ」は週2回の収集となっています。

Q どんな効果がある？

A 以下の効果が期待できます。

- ごみの排出機会が減り、ごみの減量・分別の意識が高まります。
- ごみの減量に応じて収集を効率化し、コストを抑えることができます。

例)

現在 (燃やすごみの収集日)

日	月	火	水	木	金	土
						

週3日収集



変更案 (燃やすごみの収集日)

日	月	火	水	木	金	土
						

週2日収集

今後の予定

市民説明会

(市主催・自治会向け等)

eモニター など

市民の
みなさん
のご意見

計 画 案
作 成

パブリック
コメント
(意見募集)

実施計画
確 定

市川市
廃棄物減量等
推進審議会

答申

市民代表や
学識経験者等